

<愛知県4種委員会 講演会資料>

* 抜粋



4種年代のレスpekt、フェアプレー



2017年5月13日（土）@名古屋国際会議場：国際会議室
（公財）日本サッカー協会 松崎康弘



- 小学生年代のチームで問題ある指導をするコーチについて（山口隆文JFA育成ダイレクター）：

「言う通りにできない子供を否定してしまう。こういう指導では選手をうまくさせることができないので、悪循環になる」

- 小学生が被害者になる体罰事件の特徴（日本女子大 坂田仰教授）：

「加害者の大人に暴力や暴言の自覚がないことが多い。小児科があるように、小学生の発育発達を理解して指導できる専門のコーチが必要」

「中高生の相談が少ないのは、告発することの影響も考えて大人に相談したがないからで、中学、高校の部活動での暴力や暴言が減るわけではないのでは」

JFA暴力等根絶相談窓口データ

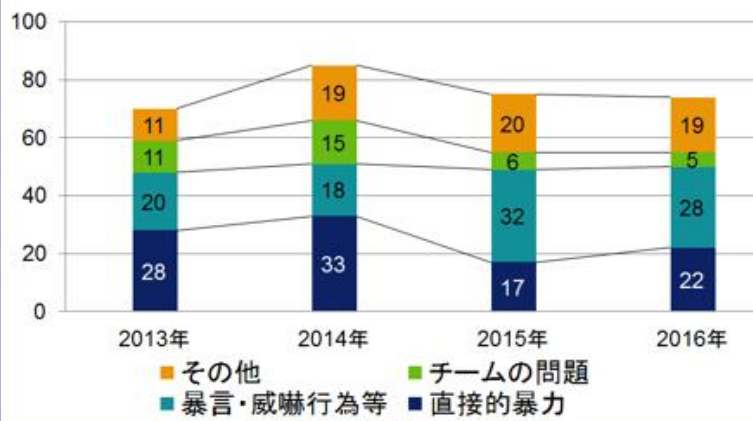
＜通報件数＞（2013年6月12日～2016年12月31日）

304件
 2013年：70件
 2014年：85件
 2015年：75件
 2016年：74件

＜通報種別＞

4種： 145件
 3種： 48件
 2種： 32件
 1種： 8件
 女子： 9件
 その他：62件

報告種類(年度別)



AFCのレスペクト

AFCのファミリーメンバーとして、我々は常に次の原則を遵守します。

- 誠実さと倫理的行動
- **レスペクトと尊敬**
- 差別とハラスメントを絶対に許さない
- フェアプレー
- 規範の順守
- 利害対立からの回避
- 透明性とコンプライアンス
- 社会的、環境的責任
- 薬物、ドーピングとの戦い
- 贈収賄を絶対に許さない
- 八百長を認めない



なぜ推進するの？

- サッカーをもっと楽しむために。
- 生活をより豊かにするため、

JFAの理念 (JFA2005年宣言)

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、
人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

真のフェアプレーは、美しい

子ども達の夢をかなえるために

- 育てること 勝つこと
*子供の将来を見据えて

- サッカー（スポーツ）の本質は、“競争”

子供達が“勝ちたい”と思ってプレーすることが重要

*大人のモチベーションによるものであってはならない

スポーツ指導現場の暴力行為はなぜ起こるか

- ・ 指導者の感情
- ・ 指導したにもかかわらず選手ができない
- ・ 選手側の態度、姿勢等
(選手の反抗的な態度、注意散漫)
- ・ 好成績を収めなければならないというプレッシャー
- ・ 先輩後輩の関係による悪しき習慣
- ・ 日本人の精神風土？
選手、保護者の中にも体罰を寛容に受け止める風土がある

リスペクトを文化に

- リスペクトは、身につけるもの
- フェアプレーは、リスペクトの心をもって行う
- 誰かがやるではなく、自ら行動する

リスペクト、フェアプレーは、
サッカー文化の原点
サッカーファミリーのメンバーによる推進
暴力、差別の根絶を！



大切に思うこと

— RESPECT PROJECT —



DREAM



JLEAGUE